

CONTENTS

- 一般質問（9人）
- 県外視察研修
- 各常任委員会Q&A
- 編集後記

みんなの公園は5年目を迎え、
これまでとは違うイルミネーションを
2月まで点灯しています。
雨の日にしか見ることのできない幻想
的なウッドデッキの反転世界。是非、
雨の公園もお楽しみください。

再度問う、 江北町総合排水計画の必要性



にしはら よしぐみ
議員

町長 ゲートの電動化は、令和7年度の当初予算にしっかり盛り込んでいく

議員 江北町の総合排水計画には、3回も質問をしてきた。今年度は、「排水対策協議会」が開催されていないが、開催の必要はないのか。

総務政策課長 事務局において、調整ができていない。大変申し訳なく思っている。今後とも組織的に事前落水に取り組んでいただくためには排水対策協議会及び排水対策連絡会は必要不可欠なものと考えている。

議員 全国各地で大雨による災害が発生し、多くの方が亡くなられた。また被災をされている現状の中、協議会は開催されず、排水対策は、協議されていない。危機感が足りないのではないか。

町長 排水対策協議会を開催することが目的になってしまい、行動、実行することができていない。協議会は、関係者と情報共有、議論する場として必要だと考えている。

議員 ゲートの電動化が中々進まないが、

町長 ゲートの電動化は、令和7年度の当初予算にはしっかり盛り込んでいくように指示をした。

議員 流域治水協議会において、小城市、大町町と協議状況に進展はあるか。

町長 年内に大町町、小城市、関係機関に協議の場の開催を申し入れし、早い時期に開催できるようにしたい。

議員 牛津川では、牟田部の遊水地、牛津川遊水地、牛津砥川地区の引き提等の事業。六角川では高橋排水機場、広田川排水機場、大町町下瀧排水機場と合計で19トンのポンプの増強など上流では排水対策事業が進んでいる。河川の最下流に位置

する本町もポンプ等の増強をお願いしたいが、町の考えは。



建設がすすむ牛津川遊水地ポンプ場

町長 町は六角川と牛津川の合流点であり、またそれぞれの河川の最下流に位置している。上流では色々な対策がとられている現状を鑑みるとわが町も対策が必要だという考えは当然だと思う。現時点で町にポンプの増強等を要望すると約束はできない。今後の流域治水をどうするのか考えていくことが大事だと考えている。

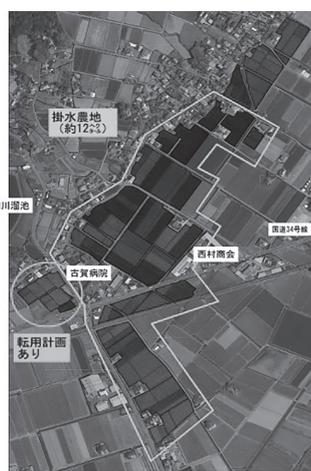
農地中間管理機構関連農地整備事業 のその後の進展は

町長 事業実現の可能性が有るといってころまで確認ができています

議員 昨年12月議会で畑川水系の水の活用と農業振興と題し、当該地区の実情を紹介し、対策事業の取り組みをお願いした。その際、「事業主体は県であり、色々な条件があるため引き続き研究したい」と答弁された。その後、進展はあるか。

事業補助率は、国が62.5%、県が27.5%、町が10%。事業完了までに約6年(準備3年、工事3年)を要する。来年8月までに町の基本構想の決定、年明けに説明会を開催し、地元の合意形成等を進めたいと考えている。

議員 事業の実施はできるのか。



事業整備予定地区

町長 事業実現の可能性が有るといところまで確認ができています。来年8月の事業化に向け地元調整等を行う。

地域振興課長 事業実施は、杵藤農林事務所と手続き、スケジュール等を協議しています。

運転免許証返納のしやすい環境づくりを



田中宏之

議員

町長 新しい時代の町の地域交通として、町営タクシーを実現することがいいと思う

議員 我が町では高齢者による交通事故を抑制するため、免許証の自主返納を奨励しているが、返納された方に対する支援の内容は。また、この支援制度を利用された方は何名か。

総務政策課長 年間6千円のタクシー券を5年間支給。また、運転経歴証明書申請手数料1,100円を助成している。この証明書を提示すると県内のタクシー料金が2割引になる。支援制度利用者数は、直近3年間で93名。

議員 免許返納された方から移動手段に苦労していると言う声を耳にするが、町はこの事をどう思っているのか。

町長 これからは、経済的支援だけではなく町民が移動手段に苦労しないよう地域交通の整備をする必要があると思う。新しい時代の

町の地域交通として町営タクシーを実現することがいいと思う。

マイナ保険証の利用は

町長 電子証明書の更新期限切れの方には、町から注意喚起をする

議員 令和6年12月から現行の保険証が廃止(新規発行停止)され、マイナ保険証に一本化されたが、町のマイナ保険証の取得率は。

町民生活課長 マイナンバーカードの取得率は86.4%で県内1位の取得率ですが、マイナ保険証の取得率は町では分からない。

議員 マイナ保険証を持っていない方は、今後どうなるのか。また、電子証明書は、5年毎の更新が必要になるが、更新手続きの方法は。

町民生活課長 マイナ保険証を持っていない方には、今後どうなるのか。また、電子証明書は、5年毎の更新が必要になるが、更新手続きの方法は。



マイナ保険証で病院受付

町民生活課長 マイナ保険証を持っていない方には「資格確認書」が送付される。また、電子証明書の更新については、期限前に手続きの案内通知が送付される。更新期限までに窓口で更新手続きが必要。

議員 電子証明書期限切れにより保険証として利用できない等、町民に支障がないよう対応してほしいが。

町長 電子証明書の更新手続きをされていない方には、町から通知を出し、注意喚起をする。また、町民生活課に相談窓口を開設している。

今年度のカモ対策は

町長 できるかどうか早めに見極め、できることは実行に移していきたい

議員 昨年は、県と連携し、町と白石町のモデル地区でカモ被害対策に取り組んでいたが、講じた対策の内容とその結果はどうだったのか。また、今年度の町のカモ被害対策は。

地域振興課長 カモの浸入防止対策として吹き流しの設置とクリークへのテグス設置。追い払い対策としてポーター、ドローンによる誘導、ピストル、ロケット花火や猟銃による追い払い対策を行った。その結果、吹き流しが一番有効だった。

今年度は要望調査を7月の農談会で行い、9月に予算を補正し、カモの飛来前に物品の配布を完了した。84名、



カモ対策 黒マルチの吹き流し

412haの農地に物品を支給し、カモの被害に備える。

議員 猟銃による追い払いができないか。

町長 銃による対策は、危険を伴い、また以前とは町の様相も変わっている等、一定の制約がある。しかし、だからといって取り組まないうちわけではなく、できるかどうか早めに見極め、できることは実行に移していきたい。

野生動物による被害対策、今後の人材育成は!



酒井明子 議員

地域振興課長 年一回講習会など開催し、罨免許の取得者確保及び有害鳥獣広域駆除対策協議会に諮り支援拡充に努めたい



イノシシ確保

議員 鳥獣被害は、西分でもイノシシが出没するなど昨今、岳、白木、花祭、門前など中山間地域に留まらず、土元、新宿、上小田地区など住宅地周辺までもイノシシ、アライグマ、アナグマなどによる有害鳥獣の被害に悩まされている。免許取得者が各地区に何人いるか。また、年齢層は、

地域振興課長 有害鳥獣対策は、主に農作物の被害を防ぐために江北町と大町町、JA等で構成する有害鳥獣広域駆除対策協議会で捕獲を行っている。猟銃免許の取得者数は、町内19名(上小田8名、山

口7名、惣領分3名、佐留志1名)平均年齢は65歳、下は38歳、上は80歳の方がいる。

議員 鳥獣被害対策のためには人材育成が必須。町は今後どういった取り組みをするのか。

地域振興課長 これまでは農産物被害防止のため、中山間地域の農業集落で免許取得者の確保、捕獲班の設置を行ってきたが、平野部でも被害が発生している。今後は農業者以外で狩猟に興味がある方へも周知し、罨免許の取得者確保に努めたい。

議員 人材確保のため町が主体となり計画的に研修会を開催、また

免許取得及び更新時の支援拡充を求める。

地域振興課長 今後は研修会などを年に1回開催する。又、免許取得、更新時の講習会受講料を1万円有害鳥獣広域駆除対策協議会より補助しているが、支援拡充は江北町の意見として協議会に諮りたい。

避難所(老人福祉センター)のトイレ環境改善は

町長 応急的な対策と言っものは取れる

議員 政府は今年度中に避難所の環境に国際基準を反映させ避難環境を改善する方針を固めた。老人福祉センター2階のトイレは、入り口は男女共有一つ入り口左側に男子トイレ、その奥にカーテン越しに男女共有トイレと粗悪なトイレ環境。予算を計上し、改善を。

総務政策課長 建物自体が築45年経過しており、建物の使用について検討を行う必要がある、現時



老人福祉センタートイレ

議員 子どもの権利条約が批准され30年目となり、昨年「子ども基本法」が施行。義務教育学校化に向けて、不登校児の居場所について言及があったが、子どもの意見は反映されているか。既に町内各地域に子どもの居場所がある。町にその情報発信してほしいが。

教育長 教育支援センターの設置を検討している。設置場所、相談支援体制の充実に向けて、具体的な検討を進めたい。居場所についてもじっくり子ども達を主体に考え、取り組みを進めたい。また、居場所に関する情報についても発信して行きたい。

不登校児の居場所 発信・支援を求む

教育長 居場所の発信をして行きたい

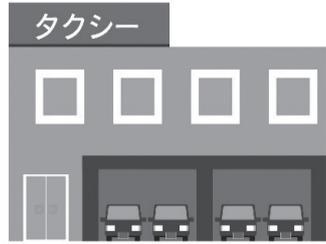
町営タクシーの進捗状況は 必要な課題の整理はできているのか

古賀里美

議員



町長 令和8年4月には事業が開始できるよう準備を進めていきたい



町営タクシー事業

議員 6月議会で「高齢者移動手段確保のためにデマンド交通の導入を」という質問に、町長は、「町営タクシーを検討したい」と答弁された。導入に向けた現在の進捗状況、また必要な課題の整理ができているのか。

町長 国土交通省佐賀運輸支局に相談し、町営が実現可能なこと、また、支局からご指導ご支援いただけることを確認している。今後、車両、人員の確保、運行エリア、運行時間、料金などの制度設計を進め、令和8年4月には事業が開始できるよう準備を進めていきたい。

一般質問

議員 町営タクシーの実証実験の予定はあるのか。

町長 事業開始前に実証実験と言うより、事業を始めてから利用状況等をみた上でルールの見直しをしていく。



令和8年4月事業開始予定

ベビー用品貸出 事業の検討を

健康福祉課長

現在、町でベビー用品を貸出しする事業実施は考えていない

健康福祉課長 現在、考え方が多様化しており、ネットやアプリで中古品等も言めて購入や譲受けをすることが一般化してきているの



ベビーカー、ベッド等必要な用品の貸出しを

議員 我が町は「街の住みこころランキング2024(佐賀県版)」で2位にランクインした。出生率は県内一位子育て世帯への支援策としてベビー用品の無償貸出事業の検討をお願いしたいが。

議員 放課後児童(学童保育)問題は切実。高年齢者(地域の大人)に参画してもらい子どもたちに、安全で安心な居場所を提供する放課後児童対策が実施できないか。

教育長 子供たちの居場所づくりは解決すべき大きな教育課題の一つ。高齢者の方々が地域の子育て支援に関わることも解決策の一つであると考える。

議員 遊びから学ぶ教育も生きていく上で大切な人づくり。世代間で交流する場を身近な地区公民館につくることのできるか。

ではと思っている。現在、町でベビー用品を貸出しする事業実施は考えていない。

放課後の子供たちの居場所づくりを

教育長 子供たちの居場所づくりは解決すべき大きな教育課題の一つ

町長 子どもたちには、町で色々な経験をしてもらい、町ぐるみで色々な体験をもらうような環境整備をすることが大事だと思う。

議員 子どもたちは、地域のお年寄りと交流することで学校では学べない事を学べ、高齢者の方は子供たちとの交流が生きがいになる等、双方に良い効果があるため交流する場を設けてほしいが。

こども教育課長 地域で高齢者との交流の場を設けることは一つの課題だと思っている。今後は、問題意識をもって色々検討していきたい。

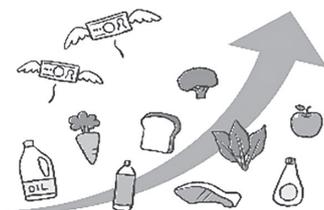
物価高に対する町の支援策は



田村 康 議員

町長 国の対策、動きを注視し、町としての対策をとる必要があると思う

町長 町では、現在まで元氣クーポン券事業等色々な対策をとってきた。物価高に対する対策は、国の対策、動きを注視し、町としての対策をとる必要があると思う。



物価高に対する支援を

地域振興課長 令和6年度の物価高対策は、今後国から交付が予定されている「重点支援地方交付金」を活用し、支援事業を展開していきたい。

議員 食料品、電気ガス等全てのものが値上がりしている。この物価高、物価上昇に対して町独自の支援はできないのか。

県内の学校の不登校児童生徒数(単位:人)

	小学校	中学校	高校	合計
18年度	278	854	329	1461
19年度	333	920	366	1619
20年度	403	917	298	1618
21年度	549	1091	404	2044
22年度	669	1341	429	2439

県内不登校児童・生徒数の推移

議員 県教育委員会によると不登校児童数が増え、過去最多を3年連続で更新し、1,000人当たりの不登校児童・生徒数は、小学校17.7人、中学校58.3人。重大事態のいじめ件数

教育長 町でいじめの重大事態は発生していない

議員 プレミア付き商品券を発行している自治体もあるが、本町で実施の予定はあるか。

小・中学校のいじめの現状は

地域振興課長 令和6年度の物価高対策については国から交付金が措置される予定で、具体的な内容は今後補正予算等で示します。

議員 15件であった。町の小・中学校の状況は、**教育長** 不登校児童・生徒数は、小学校106人、中学校36人。また、町でいじめの重大事態は発生していない。**議員** いじめ、不登校に対し、学校で行っている対策はあるか。**教育長** コミュニケーションが何より大切であると考えている。まずは挨拶の習慣化。また、道徳の授業に力を入れていく。中学校では対人関係を円滑にするための知識、技能の



不登校児童数が過去最多

指導を行い、自分の思いを伝える関係づくりを行っている。

議員 いじめ、不登校の問題に対しては、学校、教育委員会、保護者の三者が一体となって取り組むべきだと思うが。

教育長 小・中学校で起きた問題は、初期段階で保護者に報告し、適切に対応できている。

影響があるのか 103万円の壁

町民生活課長 税金 減見込み額、約1億2,800万円



どうなる103万円の壁

議員 県では、所得税が発生する「103万円」いわゆる年収の壁を見直した場合、税収が約72億円減収となると試算されている。町は、年収の壁が見直された場合、税収はどのくらい減額となるのか。**町民生活課長** 約1億2,800万円の税収減となる見込み。**議員** 税収が減額となったことで行政サービスが低下するのではないか。**町長** 国による大きな見直しのため、個人で賛否を申し上げることはできないが、税収減により行政サービスの低下を招くことのないようにしていただきたいと思う。

江頭義彦
えがしらよしひこ

議員



手動の『踏切ゲート』の導入支援は

基盤整備課長 地元の意見を聞きながら県と協議していく

議員 町内の警報機も遮断機もない第4種踏切と警報機はあるが遮断機がない第3種踏切について現場を確認されたか。

基盤整備課長 現場を確認し、地元の方が農作業の際や生活道路として利用されており、通行する場合は、警報機や遮断機がなく幅員も狭いことから、危険な踏切であると考えている。

議員 周辺の住民の方の意見や要望は聞かれたか。

基盤整備課長 近隣住民の方、周辺の農地の耕作者に話を伺った。農作業で横断する際、音が聞こえないので注意して横断する必要があること。農地耕作や集落内の生活道路として利用しており、踏切はなくしてほしくないという意見があり、地元では必要な踏切にな



下小田地区の第4種踏切

っていると感じている。
議員 第4種踏切については踏切ゲートの設置を国と自治体で費用の6分の5を補助する制度の実施が予定されている。ぜひ検討してほしいが。

基盤整備課長 現在、長崎本線江北―諫早間の鉄道施設は、佐賀・長崎鉄道管理センターが鉄道施設の保有と維持管理を行っている。踏切ゲートの設置には、地元の意見を聞きながら、今後、施設管理者の佐賀県と一緒に協議を行っていききたい。

部活動の地域移行、最終年度の計画は

教育長 体制づくりに取り組んでいきたい

議員 地域移行に向けた委員会の進捗状況は。

教育長 検討状況は、昨年8月に中学生と教職員を対象に、部活動に関するアンケートを実施した。また、令和5年度から地域クラブ

活動体制整備事業に取り組まれた佐賀市など県内4市町の実証結果を踏まえ、子どもたちにとって望ましい部活動の在り方の検討を重ねている。町の部活動地域改革の考え方を改めて見直している。
議員 地域指導者確保の進捗状況は。

教育長 子どもたちに持続可能な活動を保障できるよう、地域移行ではなく、既存のスポーツ競技団体や文化協会等との地域連携を考



令和8年4月から部活動地域移行

教育長 指導者の確保は、教育委員会が主体

となり、関係団体と協議をする予定。指導者の謝金は、保護者負担の問題等解決すべき課題もある。先進自治体の状況等を引き続き研究していきたい。

議員 町が指導者の活動条件を定めるのか。また、町が指導者の保険料を負担するのか。

教育長 指導者の活動条件や保険料については、今後、関係団体との協議の中で詳細に検討したい。

議員 地域移行になった場合、施設はどこを使用するのか。また、使用料は発生するのか。

教育長 利用する施設は主に学校施設が中心になると考えている。町の公共施設、あるいは地域の公民館など

様々な施設を利用し、保護者負担が大きくなるようにする必要があると認識している。

三吉紀美子

議員



再度問う 見えるビッキーは？

町長 状況が改善するまでの間は点灯を控えるという判断をしたい

議員 桜山公園にあるビッキーのネオンは、文字は見えるが、ビッキーが見えなくなっている。令和3年12月議会で、土地所有者と協議中と回答された。令和4年9月議会で町長は、期限を切り協議し、成立しなければ消灯の判断もあると回答された。その後2年経過するが、進展なしの状況。

設置当時、土地所有者に樹木の伐開、管理の説明をされたのか。協議の中で理解を頂けない点は何であるのか。

総務政策課長 当初は必要があれば伐採の相談をするという説明がされており、地権者から承諾を受け樹木の伐採ができていたが、ここ数年は、地権者の方に会うことができず、相談もできない状況にある。

町長 マイナスのイメージを広げてしまうのであれば、状況が改善するまで点灯を控えるという判断をしたい。

下水道における、不明水問題

町長 生活に不便を来さない対策をとって行くべきだと思う。

議員 不明水問題は、まだ原因究明に到っていない。現状の説明を。

基盤整備課長 長寿命化計画に基づき、ストックマネジメント事業を活用し、下水管路施設の点検調査を実施しているが、現在まで原因となる異常は見つからない。今後補助事業を活用し、マンホール点検、管口カメラ点検などの従来の調査を行い、異常があればその都度対策を図る。

町長 原因究明の調査を行ったが、確たる箇所は見つからない。住民の生活に不便を来さない対策をとって行く。

町道花祭村内線、被害箇所への対応は

基盤整備課長 安全管理対策を講じ、安全安心に努めていきたい



町道花祭村内線の被害箇所



適切な管理ができていない

議員 町道花祭村内線の地滑り被害箇所のブルーシート取り扱いを、11月3日現地確認をした。梅雨前の5月下旬に確認した際と状況に変化がないように感じましたが、よく見ると被害箇所を覆うブルーシートや土のうが破損、また雑草が生い茂っている。

る状態で適切に管理されているとは思えなかった。管理状況について説明を。

基盤整備課長 ブルーシートで被覆し、雨水等が地中に浸透し被害が拡大しないようにしている。地滑りの兆候に変化がなかったためシート等の補修は行っていない。しかし、道

路の復旧まで時間を要するため、今後は、専門家の意見を聞き、安全管理対策を講じ、花祭地区の安全安心に努めていきたい。

保留案件に回答期限を設けられないか

町長 できるか、できないかは、可能な限り早く回答する

議員 議会からの要望、指摘に対する行政からの回答に期限を設けることはできないか。

町長 回答期限を設けることは可能であると思う。要望いただいたことが「できるか」、「できないか」は、可能な限り早く回答することはできると思う。

土淵茂勝
どらぶちしげかつ

議員



学校給食に健康に良い 有機栽培の食品の提供を!

教育長 現時点で取り入れる計画はない

地域振興課長 町は、減農薬の栽培に取り組んでいる「環境保全型農業研究会」の取り組み

議員 新しい学校づくりを進める中で、食育という観点から学校給食に安全・安心・健康に良い有機栽培の米、野菜を取り入れる考えはないか。
教育長 食育の推進はとても大事だと認識している。すぐに有機栽培の食品に切り替えることは、中々できない。限られた予算の中、安全な給食を実施している現状を踏まえ、現時点で取り入れる計画はない。
議員 産業厚生常任委員会でも有機栽培に取り組む自治体を視察した際、地域振興課職員も同行していた。他自治体の取り組みを視察し、そのときの経験を町でどのように活かしているのか。

地域振興課長 学校給食に提供する場合の課題は、生産量、種類を増やすことだと考えて



有機の里として有機栽培の促進を

みを支え、有機肥料の活用、減農薬の取り組み拡大を推進していきたい。
議員 有機栽培の米、野菜を育て、学校給食に提供するとした場合、地域振興課は、どのような課題があると考えてるか。

こども課長 現状、給食センターは、1日当たり1,020食を小・中学校、幼児教育



学校給食に安心・安全な有機栽培の食材を

いる。町で有機栽培されている米の流通状況を調査した。出荷量は、6.2トンで今年度の出荷先は既に決定しており、学校給食への供給はできない状況。
議員 学校給食を担当しているこども教育課は、有機栽培の米、野菜を取り入れる場合どのような課題があると考えているか。

拡大すること地域が自然が豊かになる。な

センターの子供たちに届けている。その食材のうち、町内産ですべてまかなっているものは、米とキュウリのみでその他の食材は、県内産、国内産で対応しているような状況である。有機栽培の食材を給食に必要な量自体をまず確保することができない。また、有機栽培の食材は、通常のものより高額となるため費用が高くなるのが課題だと考えている。
議員 今年の夏「夢みる給食」を視察した。この映画は、全国の有機農産物を使った給食を紹介する映画である。有機農産物を使った給食による効果として、①こども達の健康にいい影響を与えている。②農業者の収入が増え、後継者づくりにも有利である。③有機農業が拡大すること地域が自然が豊かになる。な

センターの子供たちに届けている。その食材のうち、町内産ですべてまかなっているものは、米とキュウリのみでその他の食材は、県内産、国内産で対応しているような状況である。有機栽培の食材を給食に必要な量自体をまず確保することができない。また、有機栽培の食材は、通常のものより高額となるため費用が高くなるのが課題だと考えている。



町で映画の上映会の実施を

どが示されている。
町長 町として、この映画の上映会を企画するよう提案するがどうか。
町長 個人的に映画はとてもみたかった。上映会をすることは、また別の問題だと、思っている。
町が取り組む事業の理解を深めていただくため、また、機運醸成のためであれば映画の上映会を実施する可能性もあるが、現時点ではこの映画を上映する目的、趣旨が見いだせないため上映会を開催することはできない。

門前～畑川線の道路改良と今後の予定は



池田和幸 議員

町長 この事業が一つの区切りであり、それ以外は当然検討させていただく

議員 現在、道路改良工事中の門前～畑川線は、通学路安全対策事業として、令和3年度から6年度までの4年間事業として計画された。工事の進捗状況は、**基盤整備課長** 水路工や擁壁工などの構造物の工事進捗率は73%で、舗装工事を含めた全体の工事の進捗率は50%。
議員 今後の工事計画は、**基盤整備課長** 水道管の移設後に水路工などの構造物の整備とアスファルト及びカラー舗装の工事を予定。
議員 現在拡張工事が予定されていない箇所への対応は、**基盤整備課長** 門前～畑川線の道路計画に基づき整備を行っており、計画以外の整備は予定していない。
議員 永林寺保育園から白木酒店の間は、水路にガードレールもな



離合ができない検討箇所



ガードレールもない危険な箇所

い状態で、すぐにも対応をお願いしたいが。

町長 令和7年度に即事業化は難しいと思う。

議員 観音下地区内で道幅が狭く、離合が困難な道路拡幅の要望等は出ていないのか。
基盤整備課長 11月末に観音下区より町道拡幅工事の要望書が提

出された。町全体の道路整備計画と合わせて検証する必要があるため検討する時間をいただきたい。
議員 地区の住民は困っているため、深刻に捉え、検討いただきたいが。
町長 町内全体の整備改良が必要な箇所として、今後の整備計画の中で検討していく。

求められる部活動の地域移行

教育長 持続可能な部活動の地域展開に取り組む

議員 部活動の地域移行の取り組みは、
教育長 昨年8月に中学生と教職員を対象にアンケート調査を実施した。また、地域スポーツクラブ活動体制整備事業に取り組みました。県内4市町の実証結果を踏まえて、部活動の在り

方を検討している。
議員 地域クラブへの移行の取り組みの課題は、
教育長 責任の所在、指導者の確保と育成及び財源確保等が挙げられる。教育委員会として持続可能な部活動の地域展開に取り組む。
議員 教師の中には地域でのスポーツ指導を強く希望する方もいると聞くが、その対応は、
教育長 江北中学校の教職員の69%は、休日の部活動の地域移行に賛成している。

草場溜池のゲート改修

町長 地元の方と協議をし、早めに決めていく

議員 草場溜池は、農業用水を供給する農業用溜池であり、また火災等による防災用でもある。現在、取水栓ゲート

が機能しなくなり、農業用水の供給確保に被害が発生している。改修に対しての補助事業をお願いしたいが。
基盤整備課長 草場溜池は防災重点溜池に位置付けられている。農村地域防災減災事業を活用し、補助事業として防災工事が可能であるが、計画、協議等が必要なため最短でも令和11年度からの着手となる。
議員 ストックマネジメント事業を活用し、斜樋、取水栓の改修はできないか。
地域振興課長 令和7年度事業の受付は、締め切られているため最短でも令和8年度の事業実施となる。
議員 耕作者は、すぐに改修をお願いしたいと言われているが。
町長 農業関係に影響あるため、地元の方と協議をし、早めに対応を決めていくようにしたい。

総務常任委員会行政視察研修報告
11月19日～20日

◇エコウィン宇土

アリーナ(宇土市)

ネイブルに空調整備が予定されているため、空調設備を視察。遠赤外線により室内を暖めたり冷やしたりする放射式冷暖房設備が導入されていた。この空調は、無音・無風のため体育館等の大型フロアに適しており、県内では、武雄市民体育館、小城市中学校で導入されている。今後、ネイブルの空調については、十分な検証が必要だと思った。



放射式冷暖房設備を導入

◇エコポート九州 (熊本市)

これまで分別が困難と思われていた樹脂を光学選別機による素材自動選別、洗浄、再生



危険な器具類が含まれている



各地から集まるプラ製品

4月から、容器包装プラスチック、製品プラ、2種のプラスチックごみを全てプラスチック製品に再生する取り組みをエコポート九州と運搬を担うイフウチと取り組む。



人力によるプラの選別作業

◇臼杵市

土づくりセンター

大分県臼杵市にあるこの施設は、市が消費者へおいしく安全・安心な

農産物の提供のためにミネラル豊富で良質な土を人工的に生産し、安全・安心で健全な農業振興を図ることを目的として造られた。この施設でつくられた堆肥で土づくりを行い、



ミネラル豊富で良質な堆肥



土づくりセンター内

有機栽培の取り組みを推進され、その農産物を学校給食に活用する取り組みがされていた。

産業厚生常任委員会行政視察研修報告
10月22日～23日

議長交際費の公表

議長が町議会を代表し、対外活動等のために支出した交際費を公表します。

○交際費支出状況○
(令和6年10月)

12月支出

項目	件数	支出額
会費	1	8,000円
弔慰費	2	20,000円
その他	1	3,850円
合計	4	31,850円



総務常任委員会

問 会計年度任用職員募集は、もっと広く町民の方に周知するべきではないか。

総務政策課長代理 来年度は、積極的に広報等をしていきたい。

問 町内のし尿くみ取りの世帯数、また町内の現状は。

町民生活課長 令和5年度末で579世帯。年々減少している。令和4年度末、602世帯から1年で、23世帯減少している。

問 令和7年4月以降し尿手数料が改正されるが、改正後の料金について説明を。

町民生活課長 改正後の手数料は、90ℓ未満は、1回につき1,100円(税込)、90ℓ以上の場合18ℓにつき222円(税込)となる。

問 保育園で当初予定

していた人員が確保できなかったために、少ない人員で業務に支障は出ていないのか。

幼児教育センター副所長 募集を再三しているが応募がなく困っている。現状の職員数で何とか対応している。

問 近年、幼児教育センターは慢性的に人員が不足している。給与等待遇を見直し、人員の確保に努めていただきたいが。

幼児教育センター副所長 命を預かる場、教育の場、責任のある仕事なので待遇改善は必要だと思つ。

問 ネイプルの緞帳の損傷が激しい。早急に補修が必要では。

こども教育課長代理 ネイプルの施設修繕等は協議をし、優先順位を決定した年次計画により対応している。

問 ネイプルの床にフリンを引く際、専門の

方の意見を聞いてはどうか。

こども教育課長 業者、利用者と打ち合わせをし、決めていきたい。

問 米の価格が上昇しているが、それに対応

総務常任委員会 町内視察

①ケーブルワン

スポーツパーク指定避難所である、ネイプル多目的ホール

するために予算の補正は必要ないか。

こども教育課長代理 今年度は、予算内で対応できるが、来年度は予算の見直しが必要になる。

を快適な避難所とするために、空調設備の整備事業が計画されている。



ケーブルワンスポーツパーク (武雄市)

最新の空調設備を確認するため「輻射式冷暖房システム・エコウインH YBRID」が導入されているケーブルワンスポーツパークを視察。コスト、快適性、災害時でも使用できるなどの利点がある。空調設置に際しては、専門家の意見も取り入れる等、念入りの検証を担当課に求めた。

②ネイプル多目的

ホールの緞帳

ステージの緞帳の破損箇所を確認した。



損傷が激しい緞帳



破損は数か月前から確認されていた。建設から21年が経過し、老朽化は今後も進むため早急な対策が必要。

意見書

小中学校の学校給食の無償化を求める意見書

学校給食は、学校給食法第1条に「教育の推進」がその役割と目的として規定されており、教科学習と並び学校教育の一環となっている。未来を担う子どもたちに安全・安心で豊かな学校給食が、国の財政負担により早期に無償で提供されることを強く求める。

(全会一致で可決)

産業厚生常任委員会

問 子どもの医療費助

成費事業は、令和7年4月から自己負担を無償化し、対象を高校生まで拡充する予定だが、今後の予算見込み額は、健康福祉課長 現状予算は、5千万円程。医療費を無償化した場合、現状より約1千9百万円の増額を見込んでいる。

問 県内他市町の子ども医療費の無償化の取り組み状況は。

健康福祉課長 県内10町中、江北町以外は、既に高校生までを医療費助成対象者として事業を実施している。ただし、医療費自己負担分を「無償化」しているのは、上峰町、基山町、玄海町の3町。市で無償化を実施している自治体はない。

問 県内で重度心身障害者に対する医療費助

成事業で自己負担額を無償化している市町はあるか。

健康福祉課長 上峰町が自己負担額を無償化している。今回の制度改正により江北町は、県内で2番目に自己負担額を無償化する自治体となる。

問 町内に障害者就労支援のための作業所はあるか。

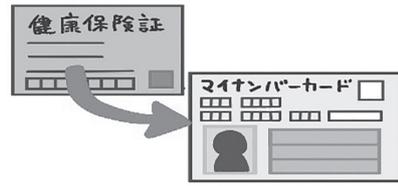
福祉係長 町内には、「ちゅりっぷのうた」「くつねるあそび」の2か所の作業所がある。また、今後、町内に新たに2つの作業所が開設する予定。

問 国民健康保険加入者でマイナ保険証(マイナンバーカードに保険情報を紐づけされている方)の人数は。

また、マイナ保険証の利用率は。

健康福祉課長 令和6年9月現在、国民健康保険加入者は、1,7

60名。そのうちマイナンバーカードに保険証情報を紐づけされているのは、1,452名。また、マイナ保険証の利用率は、約28%。



マイナ保険証の利用が基本へ

問 さが888整備事業の補助メニュー「中古ハウスリノベーション」について説明を。

地域振興課長代理 今年度より新たに新設された補助メニュー。ハウスを新設するのではなく、使用していないハウスを解体し、その骨組み等を利用し、リノベーションする際にかかる費用を補助するもの。

問 下水道使用料の徴収方法はいつから変更になるのか。

基盤整備課長 現在は、毎月徴収だが、隔月徴

産業厚生常任委員会町内視察

①電動化された水門 (白石町)



電動化された水門

収に変更となる。変更は、令和7年10月検針分(徴収は、令和7年11月)から変更となる。

要がある。



危険な踏切

③くつねるあそび(就労支援施設)

令和6年7月に開設した施設で、訪問時にはトウモロコシの仕分け作業をされていた。



仕分け作業

条例改正

一、江北町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

一、江北町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

一、江北町子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

一、江北町ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

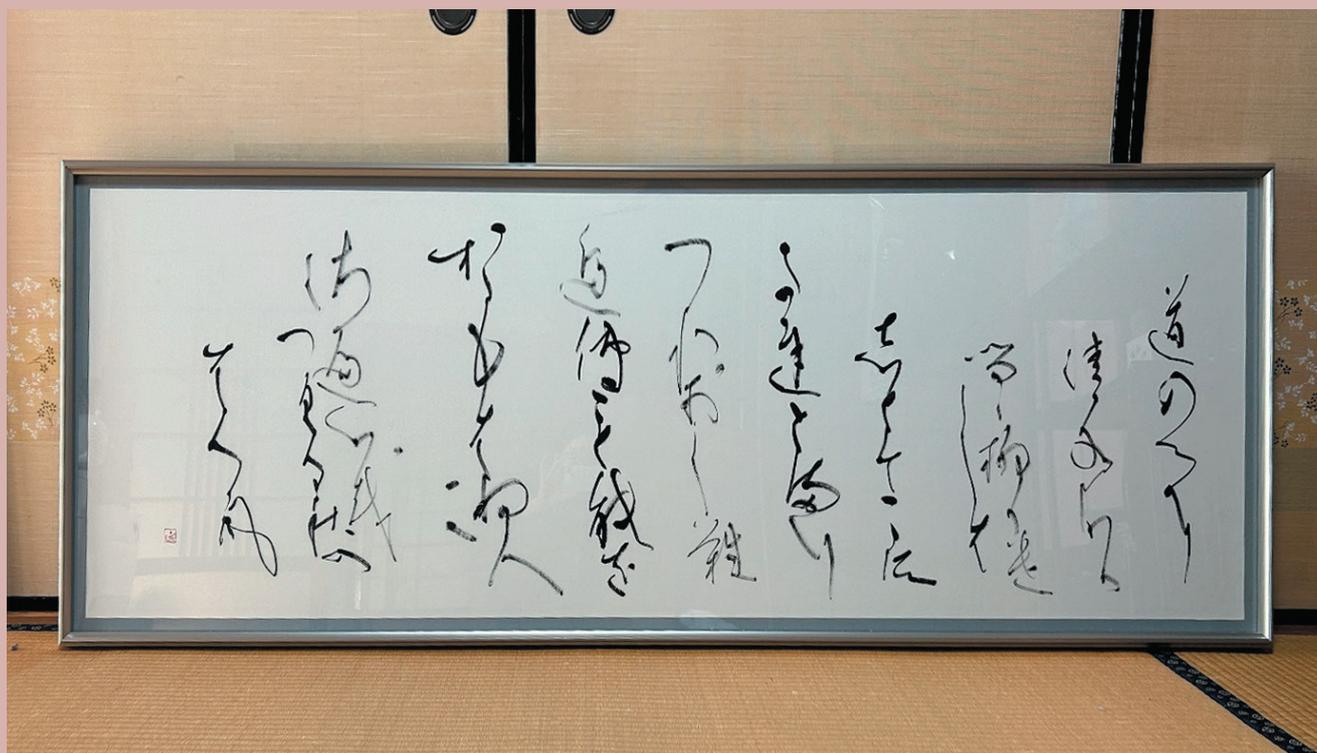
一、江北町ふれあい物産館設置条例の一部を改正する条例

一、江北町公共下水道条例等の一部を改正する条例

(全員賛成で可決)

令和6年12月定例会

佐賀県美術展覧会 知事賞受賞



*** 穏やかに楽しむ書 *** 百武直子さん (76) 下分区

- ① 道のべに 清水流るる 柳かげ しばしとてこそ 立ちどまりつれ
- ② おしなべて 物をおもはぬ 人にさえ 心をつくる 秋の初風

受賞の知らせを受け「びっくりして鳥肌が立った」と破顔する百武さん。秋の涼風を感じる西行の歌2首(①②)を流麗なかなで表し、初めての知事賞に輝いた。自身の子どもが通っていた書道教室で誘われ、40代後半で書の道に入り県書作家協会展の準会員賞などを受賞されています。

受賞おめでとうござります。

編集後記

温故知新
おんこちしん

故(ふる)きを温(たず)ねて新しきを知る。そこから新しい知恵・見解を導くこと。今年、は昭和でいえば100年目の年。日本史上最も派手な動きの昭和とは対照的に、動きがきわめて地味なのが平成から令和の日本。昔のことをよく研究し、それを参考に今つき当たっている問題や新しいことがらについて考え、先人たちの知恵をとりいれ後世に継承していきたい。

(土古賀)

議会広報委員会

委員長 池田 和幸
副委員長 土淵 茂勝
田村 康
古賀 里美
酒井 明子